





町長	副町長	課長	指導監	副指導監	課長補佐	主幹	係長	合議	係
								平総公総推第5号 令和3年11月12日	

後関

平内町長 船橋 茂久 殿

平内町公共施設等総合管理推進会議

会長 木村 良



平内町役場庁舎建設予定地に関する意見書について (提出)

平内町役場庁舎建設予定地に対する平内町公共施設等総合管理推進会議として意見等をまとめ、意見書を提出いたします。今後、町が事業を進めるに当たっては、意見書の内容にご配慮いただき、「住民が安心して暮らせるまちづくり」に資する素晴らしい庁舎となりますことを祈念いたします。



財政



## 平内町役場庁舎建設予定地に関する意見書

令和3年11月平内町公共施設等総合管理推進会議

### ●平内町役場庁舎建設予定地について

建設予定地については、「旧少年院跡地」を候補地とした。

(理由)

新庁舎の建設候補地3か所(現在地、旧病院跡地、旧少年院跡地)について、議論を重ね、敷地面積などの面から概ね意見が「現在地」と「旧少年院跡地」の2候補地に分かれた。議長を務める会長を除く出席委員8名による無記名投票を行い、「旧少年院跡地」を予定地案として決定した(投票結果;「現在地」3名、「旧少年院跡地」5名)。

建設面積や駐車場用地を十分確保でき、庁舎の階数を低くすることが可能であるため、防災面、事業費面で有利であり、将来的に公共施設等を集約しやすい点なども考慮し、「旧少年院跡地」が望ましいと結論した。

### ●役場庁舎の規模等について

将来の人口規模を勘案し、適切な職員の定員管理と施設規模を検討していただきたい。また、窓口のワンストップ化の実現と、耐震性及び将来的なメンテナンス費用を考慮し、なるべく階数が低くなることが望ましい。加えて、防災備品等の備蓄庫を整備し、現在旧東栄小学校に置いてある防災備品を消防署や開発センター、青少年ホームなど複数箇所に分散して備蓄できるよう検討すること。

そのほか、施設の老朽化に苦慮する各団体等と、新庁舎にスペースを設けることができるかなど協議していただきたい。

### ●アクセス等の対応について

自動車で来庁する方が多いことから、駐車場は広く確保すること。また、冬場も十分な駐車スペースを確保できるよう対策していただきたい。

旧少年院跡地に移転する場合には、自動車以外で来庁する方に配慮し、小湊駅、小湊商店街、病院、よごしやま温泉等をつなぐバス路線等の見直しや、移転に伴い乗車料金が変わる方への対策など、移転することにより不便を感じることをないように、利用者が使いやすい交通体系を構築することは、最も重要な検討課題である。

### ●排水処理について

消防署建設の際の地質調査によると、夜越山からの伏流水の影響はないとのことだが、粘土層の影響で水はけが悪いことから、降雨後の水の処理対策が望まれる。庁舎建設後に周辺地域で道路冠水等が頻発するといったことの無いように、必要に応じて既存の排水路の再整備等も併せて実施するよう要望する。

●現役場庁舎等の活用等について

旧少年院跡地に建設する場合、小湊商店街などが多大な影響を受けることと思われるが、役場跡地を他団体に利用してもらったり、今以上のイベント開催を検討するなど、町の中心地の活性化対策が必要である。また、現役場庁舎付近の駐車場や車庫について、どのように活用するのか十分に検討すること。

●町財政運営への影響について

町財政担当で吟味していることと思うが、事業の実施にあたっては「最小限のコストで最大限の効果」を得られるように、また将来的な町の財政運営に大きな影響を及ぼさないように十分配慮すべきである。

●旧少年院跡地全体の利活用について

全体的な用地の利活用方針（ゾーニングなど）を早期に検討し、夜越山森林公園や中学校統合等一体的に考え、用地を有効利用できるよう計画すべきと考える。老朽化が進む公共施設を全体的に考えて集約したり、移転で影響を受ける商店に貸し出すことのできる商業スペースや道の駅、チャレンジショップの開設など、平内町全体の交流人口が増えるような活用方法が考えられる。

以上